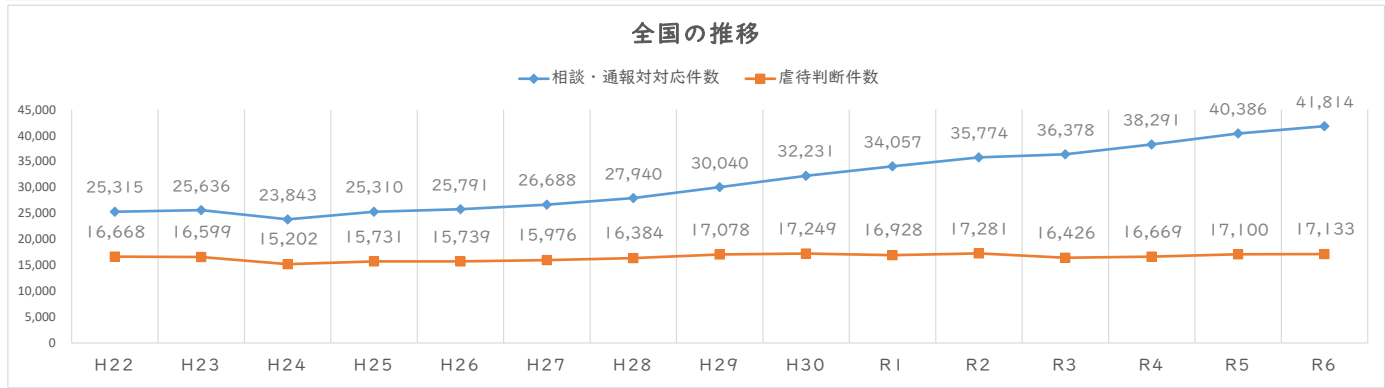
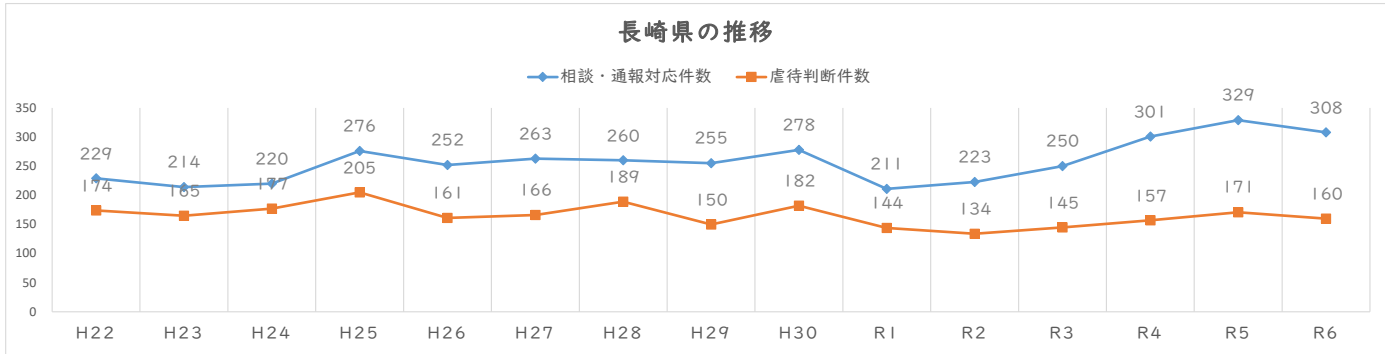


Ⅱ 養護者（家族、親族、同居人等）による高齢者虐待

		令和6年度		令和5年度		増減
1 相談・通報対応件数	長崎県	308 件		329 件		-21 件
	全国	41,814 件		40,386 件		1,428 件
2 虐待判断件数	長崎県	160 件		171 件		-11 件
	全国	17,133 件		17,100 件		33 件
3 被虐待者数	長崎県	161 人		175 人		-14 人
	全国	17,472 人		17,455 人		17 人

・相談・通報対応件数は前年度より21件減少、虐待判断件数も11件減少しているが、過去2番目に多い。被虐待者数は14名減少している。



		長崎県				全国			
		令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
4 相談・通報者（複数回答）	計	329 人	100.0 %	348 人	100.0 %	44,107 人	100.0 %	42,850 人	100.0 %
	介護支援専門員	115 人	35.0 %	102 人	29.3 %	10,756 人	24.4 %	10,607 人	24.8 %
	介護保険事業所職員	29 人	8.8 %	20 人	5.7 %	2,525 人	5.7 %	2,512 人	5.9 %
	医療機関従事者	22 人	6.7 %	34 人	9.8 %	1,993 人	4.5 %	1,767 人	4.1 %
	近隣住民・知人	7 人	2.1 %	10 人	2.9 %	1,168 人	2.6 %	1,252 人	2.9 %
	民生委員	5 人	1.5 %	9 人	2.6 %	564 人	1.3 %	593 人	1.4 %
	被虐待者本人	9 人	2.7 %	10 人	2.9 %	2,321 人	5.3 %	2,327 人	5.4 %
	家族・親族	27 人	8.2 %	34 人	9.8 %	3,114 人	7.1 %	3,209 人	7.5 %
	虐待者自身	3 人	0.9 %	5 人	1.4 %	601 人	1.4 %	621 人	1.4 %
	当該市町村職員	13 人	4.0 %	16 人	4.6 %	2,029 人	4.6 %	2,165 人	5.1 %
	警察	78 人	23.7 %	82 人	23.6 %	15,709 人	35.6 %	14,682 人	34.3 %
	その他	21 人	6.4 %	24 人	6.9 %	3,277 人	7.4 %	3,064 人	7.2 %
	不明（匿名を含む）	0 人	- %	2 人	0.6 %	50 人	0.1 %	51 人	0.1 %

・「介護支援専門員」からの相談・通報割合が最も多く、次いで「警察」の割合が高い。

		長崎県				全国			
		令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
5 虐待の内容	計	229 人		264 人		24,066 人		24,274 人	
(1) 虐待の種別（複数回答）	計	161 人	(実人数)	175 人	(実人数)	17,472 人	(実人数)	17,455 人	(実人数)
※構成割合は被虐待者の実人数に対して算出									
	身体的虐待	105 人	65.2 %	117 人	66.9 %	11,203 人	64.1 %	11,362 人	65.1 %
	介護・世話の放棄、放任	28 人	17.4 %	41 人	23.4 %	3,441 人	19.7 %	3,393 人	19.4 %
	心理的虐待	71 人	44.1 %	71 人	40.6 %	6,496 人	37.2 %	6,680 人	38.3 %
	性的虐待	1 人	0.6 %	- 人	- %	69 人	0.4 %	66 人	0.4 %
	経済的虐待	24 人	14.9 %	35 人	20.0 %	2,857 人	16.4 %	2,773 人	15.9 %

・「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」が多い。

		長崎県				全国			
		令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(2)虐待の程度	計	95人	100.0 %	98人	100.0 %	12,600人	100.0 %	12,611人	100.0 %
1) 軽度		34人	35.8 %	44人	44.9 %	5,061人	40.2 %	5,053人	40.1 %
2) 中度		42人	44.2 %	37人	37.8 %	4,656人	37.0 %	4,748人	37.6 %
3) 重度		16人	16.8 %	12人	12.2 %	2,071人	16.4 %	2,025人	16.1 %
4) 最重度		3人	3.2 %	5人	5.1 %	812人	6.4 %	785人	6.2 %

※令和3年度からは上記の4段階へ変更となっている。また、深刻程度を判断していないケースもあるため被虐待者数とは合致しない。

(3)虐待による被虐待者の死亡	-人	-人	26人	27人
-----------------	----	----	-----	-----

6 被虐待者の状況									
(1)性別	計	161人	100.0 %	175人	100.0 %	17,472人	100.0 %	17,455人	100.0 %
男		33人	20.5 %	52人	29.7 %	4,198人	24.0 %	4,266人	24.4 %
女		128人	79.5 %	123人	70.3 %	13,274人	76.0 %	13,189人	75.6 %
不明		-人	- %	-人	- %	-人	- %	-人	- %

・被虐待者の性別割合は女性が高くなっている。

(2)年齢	計	161人	100.0 %	175人	100.0 %	17,472人	100.0 %	17,455人	100.0 %
65～69歳		14人	8.7 %	9人	5.1 %	1,072人	6.0 %	1,072人	6.1 %
70～74歳		15人	9.3 %	21人	12.0 %	1,956人	11.2 %	2,243人	12.9 %
75～79歳		37人	23.0 %	27人	15.4 %	3,264人	18.7 %	3,357人	19.2 %
80～84歳		42人	26.1 %	55人	31.4 %	4,607人	26.4 %	4,478人	25.7 %
85～89歳		27人	16.8 %	28人	16.0 %	3,917人	22.4 %	3,783人	21.7 %
90歳以上		26人	16.1 %	35人	20.0 %	2,650人	15.2 %	2,511人	14.4 %
不明		-人	- %	-人	- %	24人	0.1 %	11人	0.1 %

・75歳以上の方が被虐待者となる割合が高くなっている。

(3)要介護認定の状況	計	161人	100.0 %	175人	100.0 %	17,472人	100.0 %	17,455人	100.0 %
未申請		39人	24.2 %	34人	19.4 %	3,640人	20.8 %	4,021人	23.0 %
申請中		5人	3.1 %	1人	0.6 %	636人	3.6 %	615人	3.5 %
認定済み		113人	70.2 %	135人	77.1 %	12,840人	73.5 %	12,538人	71.8 %
(内訳)									
要支援1		4人	3.5 %	8人	5.9 %	815人	6.3 %	820人	6.5 %
要支援2		10人	8.8 %	12人	8.9 %	971人	7.6 %	976人	7.8 %
要介護1		34人	30.1 %	39人	28.9 %	3,395人	26.4 %	3,166人	25.3 %
要介護2		29人	25.7 %	28人	20.7 %	2,699人	21.0 %	2,705人	21.6 %
要介護3		18人	15.9 %	23人	17.0 %	2,381人	18.5 %	2,312人	18.4 %
要介護4		11人	9.7 %	17人	12.6 %	1,633人	12.7 %	1,623人	12.9 %
要介護5		7人	6.2 %	8人	5.9 %	923人	7.2 %	913人	7.3 %
不明		-人	- %	-人	- %	23人	0.2 %	23人	0.2 %
認定非該当(自立)		2人	1.2 %	5人	2.9 %	267人	1.5 %	263人	1.5 %
認定非該当(ただし介護予防・生活支援サービス事業対象者)		2人	1.2 %	-人	- %	-人	- %	-人	- %
不明		-人	- %	-人	- %	22人	0.1 %	18人	0.1 %

・「要介護1」の方が被虐待者となる割合が最も高く、次いで「要介護2」の方の割合が高い。

(4)認定済者の認知症日常生活自立度	計	113人	100.0 %	135人	100.0 %	12,840人	100.0 %	12,538人	100.0 %
自立又は認知症なし		5人	4.4 %	7人	5.2 %	972人	7.6 %	1,009人	8.0 %
自立度Ⅰ		19人	16.8 %	28人	20.7 %	2,044人	15.9 %	2,060人	16.4 %
自立度Ⅱ		43人	38.1 %	47人	34.8 %	4,705人	36.6 %	4,602人	36.7 %
自立度Ⅲ		34人	30.1 %	32人	23.7 %	3,210人	25.0 %	3,064人	24.4 %
自立度Ⅳ		5人	4.4 %	9人	6.7 %	931人	7.3 %	896人	7.1 %
自立度Ⅴ		1人	0.9 %	2人	1.5 %	185人	1.4 %	202人	1.6 %
認知症あるが自立度不明		5人	4.4 %	6人	4.4 %	509人	4.0 %	467人	3.7 %
認知症の有無が不明		1人	0.9 %	4人	3.0 %	284人	2.2 %	238人	1.9 %

・「自立度Ⅱ」の方が被虐待者となる割合が最も高くなっている。

		長崎県				全国			
		令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(5) 介護保険サービスの利用	計	113 人	100.0 %	135 人	100.0 %	12,840 人	100.0 %	12,538 人	100.0 %
	受けている	91 人	80.5 %	107 人	79.3 %	10,493 人	81.7 %	10,307 人	82.2 %
	過去に受けていたが、判断時点では受けていない	4 人	3.5 %	6 人	4.4 %	487 人	3.8 %	503 人	4.0 %
	過去も含めて受けていない	17 人	15.0 %	22 人	16.3 %	1,810 人	14.1 %	1,656 人	13.2 %
	不明	1 人	0.9 %	- 人	- %	50 人	0.4 %	72 人	0.6 %

・被虐待者のうち、介護保険サービスを「受けている」の割合が最も高い。

(6) 虐待者との同居・別居	計	161 人	100.0 %	175 人	100.0 %	17,472 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %
	虐待者とのみ同居	94 人	58.4 %	94 人	53.7 %	9,446 人	54.1 %	9,270 人	53.1 %
	虐待者及び家族と同居	41 人	25.5 %	54 人	30.9 %	5,523 人	31.6 %	5,748 人	32.9 %
	虐待者と別居	26 人	16.1 %	24 人	13.7 %	2,315 人	13.2 %	2,229 人	12.8 %
	その他	- 人	- %	1 人	0.6 %	180 人	1.0 %	194 人	1.1 %
	不明	- 人	- %	2 人	1.1 %	8 人	0.0 %	14 人	0.1 %

・「虐待者とのみ同居」している割合が最も高く、次いで、「虐待者及び家族と同居」の割合が高い。

(7) 家族形態	計	161 人	100.0 %	175 人	100.0 %	17,472 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %
	単独世帯	23 人	14.3 %	13 人	7.4 %	1,498 人	8.6 %	1,405 人	8.0 %
	夫婦のみの世帯	41 人	25.5 %	43 人	24.6 %	4,262 人	24.4 %	4,219 人	24.2 %
	未婚の子と同居	39 人	24.2 %	48 人	27.4 %	5,943 人	34.0 %	5,777 人	33.1 %
	配偶者と離別・死別等した子と同居	17 人	10.6 %	20 人	11.4 %	1,828 人	10.5 %	1,938 人	11.1 %
	子夫婦と同居	10 人	6.2 %	16 人	9.1 %	1,533 人	8.8 %	1,677 人	9.6 %
	その他親族と同居 (子と同居せず、子以外の親族と同居している場合)	30 人	18.6 %	34 人	19.4 %	2,380 人	13.6 %	2,392 人	13.7 %
	不明	1 人	0.6 %	1 人	0.6 %	28 人	0.2 %	47 人	0.3 %

・家族形態は、「夫婦のみの世帯」の割合が最も高く、次いで「未婚の小と同居」の割合が高い。

※『未婚の子』は配偶者がいたことのない子を指す。

7 虐待者の状況									
(1) 被虐待者との続柄 (延べ人数)	計	167 人	100.0 %	180 人	100.0 %	18,312 人	100.0 %	18,335 人	100.0 %
	夫	47 人	28.1 %	38 人	21.1 %	4,216 人	23.0 %	4,178 人	22.8 %
	妻	9 人	5.4 %	17 人	9.4 %	1,303 人	7.1 %	1,386 人	7.6 %
	息子	59 人	35.3 %	58 人	32.2 %	7,119 人	38.9 %	7,100 人	38.7 %
	娘	25 人	15.0 %	36 人	20.0 %	3,533 人	19.3 %	3,459 人	18.9 %
	息子の配偶者(嫁)	6 人	3.6 %	5 人	2.8 %	405 人	2.2 %	414 人	2.3 %
	娘の配偶者(婿)	- 人	- %	2 人	1.1 %	191 人	1.0 %	192 人	1.0 %
	兄弟姉妹	10 人	6.0 %	6 人	3.3 %	415 人	2.3 %	411 人	2.2 %
	孫	2 人	1.2 %	11 人	6.1 %	472 人	2.6 %	489 人	2.7 %
	その他	9 人	5.4 %	7 人	3.9 %	655 人	3.6 %	700 人	3.8 %
	不明	- 人	- %	- 人	- %	3 人	0.0 %	6 人	0.0 %

・「息子」が虐待者となる割合が最も高く、次いで「夫」の割合が高い。

(2) 年齢 (延べ人数)	計	167 人	100.0 %	180 人	100.0 %	18,312 人	100.0 %	18,335 人	100.0 %
	40歳未満	7 人	4.2 %	15 人	8.3 %	1,072 人	5.9 %	1,048 人	5.7 %
	40～49歳	15 人	9.0 %	27 人	15.0 %	2,244 人	12.3 %	2,455 人	13.4 %
	50～59歳	37 人	22.2 %	32 人	17.8 %	5,005 人	27.3 %	4,979 人	27.2 %
	60～64歳	18 人	10.8 %	15 人	8.3 %	1,876 人	10.2 %	1,768 人	9.6 %
	65～69歳	14 人	8.4 %	16 人	8.9 %	1,224 人	6.7 %	1,197 人	6.5 %
	70～74歳	19 人	11.4 %	14 人	7.8 %	1,232 人	6.7 %	1,443 人	7.9 %
	75～79歳	18 人	10.8 %	8 人	4.4 %	1,651 人	9.0 %	1,567 人	8.5 %
	80～84歳	15 人	9.0 %	27 人	15.0 %	1,652 人	9.0 %	1,708 人	9.3 %
	85～89歳	10 人	6.0 %	11 人	6.1 %	1,064 人	5.8 %	945 人	5.2 %
	90歳以上	3 人	1.8 %	2 人	1.1 %	323 人	1.8 %	277 人	1.5 %
	不明	11 人	6.6 %	13 人	7.2 %	969 人	5.3 %	948 人	5.2 %

・虐待者の年齢は「50～59歳」の割合が高くなっている。

		長崎県				全国			
		令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
8 対応（複数回答）	計	267 人	100.0 %	290 人	100.0 %	24,386 人	100.0 %	24,156 人	100.0 %
被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例 （内訳）	被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例	38 人	14.2 %	50 人	17.2 %	4,644 人	19.0 %	4,837 人	20.0 %
	介護保険サービスの利用	17 人	44.7 %	17 人	34.0 %	1,642 人	35.4 %	1,629 人	33.7 %
	老人福祉法に基づく措置	3 人	7.9 %	6 人	12.0 %	752 人	16.2 %	751 人	15.5 %
	緊急一時保護	3 人	7.9 %	2 人	4.0 %	468 人	10.1 %	529 人	10.9 %
	医療機関等への一時入院	8 人	21.1 %	13 人	26.0 %	804 人	17.3 %	806 人	16.7 %
	住まい・施設等の利用	2 人	5.3 %	5 人	10.0 %	560 人	12.1 %	646 人	13.4 %
	虐待者の転居等	3 人	7.9 %	5 人	10.0 %	216 人	4.7 %	257 人	5.3 %
	その他	2 人	5.3 %	2 人	4.0 %	202 人	4.3 %	219 人	4.5 %
被虐待者と虐待者を分離していない事例		120 人	44.9 %	123 人	42.4 %	12,948 人	53.1 %	12,659 人	52.4 %
対応について検討・調整中の事例		6 人	2.2 %	1 人	0.3 %	400 人	1.6 %	412 人	1.7 %
虐待判断時点で既に分離状態の事例		52 人	19.5 %	46 人	15.9 %	4,022 人	16.5 %	3,764 人	15.6 %
その他		51 人	19.1 %	70 人	24.1 %	2,372 人	9.7 %	2,484 人	10.3 %

・「被虐待者と虐待者を分離していない事例」の割合が最も多い。分離を行った事例では、「介護保険サービスの利用」の割合が高くなっている。